

新着図書から佐賀に関する本のご紹介

(平成30年6月26日掲載)

貸出と予約の開始は6月26日(火曜日)、インターネット予約の開始は7月3日(火曜日)です。

『武士の日本史』
高橋 昌明／著
岩波書店
鎧兜に身を固め、駿馬で戦場を駆けめぐり、刀をふるっては勇猛果敢に斬り結ぶ。そんな武士の姿は、はたしてどこまで「史実」か? 長年武士研究を牽引してきた著者が、歴史学の最新の成果をもとに武士の実像を描く。 県関係では、葉隠が紹介されている。
請求番号 : 210.04/Ta,33

『戦国武将列伝100』
小和田 哲男／著
メディアパル
戦国武将を、戦国の黎明期、織田信長系列、豊臣秀吉系列、徳川家康系列、無派閥の異色武将に分けて、その人となりや歴史背景を読み解く。混迷の時代を生き抜くヒント集としても役立つ。『新刊ニュース』連載に加筆・修正。 県関係では、竜造寺隆信や鍋島直茂が紹介されている。
請求番号 : 281/O,93

『チンギス紀 1』
北方 謙三／著
集英社
モンゴル族キヤト氏の長の子として生まれたテムジン(のちのチンギス・カン)は父を討たれ、南の地に向かうのだが…。ユーラシア大陸に広がる大帝国の礎を築いた英雄チンギス・カンの物語。『小説すばる』連載を加筆・修正。 著者は佐賀県出身。
請求番号 : F/Ki,65/1

『チンギス紀 2』
北方 謙三／著
集英社
父祖の地に戻ったテムジンは旗を掲げ草原を疾駆し、命を狙うタイチウト氏と対峙する。父の死で弱体化したキヤト氏の威を示し、モンゴル族をひとつにするために-。『小説すばる』連載を加筆・修正。 著者は佐賀県出身。
請求番号 : F/Ki,65/2

岡田 晃／著

集英社

「日本の奇跡」と言われる明治の近代工業化の礎は、江戸末期のサムライ達により準備されていた! 製鉄、造船、石炭産業などの現場で奔走した人々の熱いドラマを描く。『kotoba』連載を加筆し書籍化。

県関係では、佐賀藩の反射炉や三重津海軍所などの紹介がされている。

請求番号 : 602.1/O,38

[→バックナンバーはこちら](#)

[→インターネット予約・貸出についてはこちら](#)

郷土資料室の新作資料一覧

[→詳細はこちら](#)

郷土資料室の本は貸出を行っておりません。

郷土資料室での閲覧をお願いします。

[資料紹介へ戻る](#)

[佐賀県立図書館のトップページへ](#)